

計画事業番号	00890	事務事業名	小中一貫教育推進事業	担当部署	教育部小中一貫教育課	電話	4832
--------	-------	-------	------------	------	------------	----	------

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		根拠法令等	学校教育法施行規則など			
事務事業開始年度	平成27年度		個別計画等	教育基本計画			
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 6 章) にぎわい・活力のあるまち	
	(第 1 節) 地方創生の推進	
	(施策 3) 魅力的なまちの形成	
2 対象	各小中学校	
3 目的と内容	子どもを取り巻く社会環境の変化に伴う様々な教育課題に対応していくため、小中9年間で「連続した学び」を保障する一貫教育を推進し、学力や社会性などの「生きる力」の育成を図る。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	小中一貫教育推進検討準備委員会の開催 先進地視察 小中一貫教育講演会・各中学校区での「教育を語る会」の開催 教職員の合同研修会
	29年度	小中一貫教育推進会議の開催 先進地視察 小中一貫教育講演会・各中学校区での「教育を語る会」の開催 教職員の合同研修会

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度
計画	実績	計画	計画	計画
-	小中一貫教育推進検討準備委員会の開催 先進地視察の実施 小中一貫教育講演会・各中学校区での「教育を語る会」の開催	小中一貫教育推進会議の開催 小中一貫教育講演会・各中学校区での「教育を語る会」の開催 先進地視察の実施 平成30年度以降の「新しい学校づくり審議会」(仮称)開催の検討	全市一斉の小中一貫教育開始 新しい学校づくり審議会の開催 小中一貫教育推進委員会の開催 小中一貫教育講演会・各中学校区での「教育を語る会」の開催 先進地視察の実施 新しい学校づくり審議会(仮称)の設置検討	各中学校区の一貫教育カリキュラムの検証

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度 2次評価		平成28年度からの新規事業	
1次評価	現状継続	平成30年度から全市で一斉導入するため、平成30年度以降の事業の評価及び改善を行う必要がある。	
2次評価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			740		1,528		820		54	
事業額	直接事業費	国支出金	0		764		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	740		764		820		54	
	① 合計	740		1,528		820		54		
人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.20	0.00	0.20	0.00					
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	1,680	0	1,680	0	0	0	0	0	
総事業費①+④			2,420		3,208		820		54	

【評価指標】

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①小中一貫教育推進会議開催回数	目標値	回		3		
		実績値					
	②教育を語る会(教育委員会主催)	目標値	回		1	1	
		実績値					
③教育を語る会(学校主催)	目標値	地区		6	6		
	実績値						
④	目標値						
	実績値						
成果指標	① 会議開催率 【指標の定義(算式等)】	目標値	%		3		
		実績値					
	② 講演会開催率(教育委員会) 【指標の定義(算式等)】	目標値	%		1	1	
		実績値					
	③ 講演会開催率(学校) 【指標の定義(算式等)】	目標値	%		6	6	
		実績値					

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	教育内容等の質的・量的充実への対応、子どもの身体的発達の早期化等に対応するために小中一貫教育を推進していく必要がある。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	平成30年度の導入に向けた準備を行っているところであり、試行的な取組を行っている中学校区では、小中学校の生徒及び教諭の人的交流が進んでいる。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	1	本格実施をする、平成30年度以降の取組実績の積み重ねにより、成果が向上することが期待できる。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	中学校区ごとに運営体制づくりや各事業が効率的に実施されている。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--